

平成24年度公共事業再評価の対応方針について

平成24年度公共事業再評価の対象となった4事業について、対応方針を以下のとおりとします。

1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会(委員長:松岡保正氏)に意見を求めた4事業に関して、同委員会から県の再評価案を「適切」とする意見の具申がありました。

経緯等 平成24年 8月 3日 第1回県公共事業再評価委員会(再評価案作成)
 平成24年10月17日 公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査)
 ~平成25年 1月16日
 平成25年 1月29日 同委員会から意見具申

2 県の対応方針

再評価対象事業箇所に対する県の対応方針は、公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、【別紙1】のとおりとします。

委員会からの意見については、【別紙2】のとおり対応します。

担当 部局	分野	事業名	路河川名等 箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画		再評価案		評価監視 委員会意 見	県の 対応 方針
					総事業費 (百万円)	H24末 進捗率 (%)	方針	縮減・ 削減額		
建設	道路	社会資本整備 総合交付金	(国)152号 和田バイパス (飯田市)	H10	6,027	77.7	(見直して) 継続	54	県案 とおり	(見直して) 継続
		地域自主 戦略交付金	(主)長野上田線 塩崎 (長野市)	H10	2,753	97.8	継続	—	県案 とおり	継続
	河川	社会資本整備 総合交付金	(一)浅川 古里稲田 (長野市)	S52	22,250	97.1	継続	—	県案 とおり	継続
		治水ダム建設	(一)浅川 浅川ダム (長野市)	S52	38,000	72.1	継続	—	県案 とおり	継続
合 計					69,030			54		

平成24年度公共事業再評価の対応方針

路河川名 箇所名	再評価 理由	県の対応方針		担当 部局
		方針	方針理由・見直し内容	
社会資本整備総合交付金				
一般国道 152号 和田バイパス (飯田市)	再々評価	(見直して) 継続	三遠南信自動車道の現道活用区間としての幹線道路であるとともに、地域の生活道路でもあるため、安全・安心を確保する観点から、トンネル残土を有効利用することにより、「見直して継続」とする。	建設部
地域自主戦略交付金				
主要地方道 長野上田線 塩崎 (長野市)	再々評価	継続	バイパスの整備により、通学路の安全確保、交通の円滑化、広域的な地域連携の強化などが図られるため、本事業は「継続」とする。	建設部
社会資本整備総合交付金				
一級河川浅川 古里稲田 (長野市)	再々評価	継続	残区間は、流下能力が不足しており、浸水被害防止の観点から事業実施が必要であるため、本事業は「継続」とする。	建設部
治水ダム建設事業				
一級河川浅川 浅川ダム (長野市)	再々評価	継続	浅川の治水対策は、ダム建設と河川改修の組み合わせにより一体で効果を発揮するものであり、浸水被害防止の観点から事業実施が必要であるため、本事業は「継続」とする。	建設部

平成24年度公共事業評価監視委員会からの 意見に対する対応方針

【事業名】 箇所名	①審議上のその他の意見	県の対応方針
【社会資本整備 総合交付金】 一般国道152号 和田バイパス (飯田市)	・費用便益の算出において、交通量の伸び率などの根拠がどの時点のデータを使用しているかを明確にしておく必要がある。	意見を参考に、今後検討してまいりたい。
【地域自主 戦略交付金】 主要地方道 長野上田線 塩崎 (長野市)	・交通量と旅行速度の関係について、相関性の低い数値が算出された場合は、周辺の道路網も含めてその原因について考察しておくことも必要である。	意見を参考に、今後検討してまいりたい。
【社会資本整備 総合交付金】 一級河川浅川 古里稲田 (長野市)	・特になし	/
【治水ダム建設事業】 一級河川浅川 浅川ダム (長野市)	・浅川ダムの建設にあたり、地質や構造、地すべり対策などについて多岐にわたる調査・検討を行っており、また、脱ダムなど大きな議論があった事業であるため、その経緯や技術的な検討経過を記録として残しておくことが望ましい。	事業の経緯や技術的な検討経過を記録として残します。
	・事業を実施したことだけで終わらせるのではなく、これまでの取り組みを紹介する場を提供するなど、地域住民と連携した社会活動の取り組みを検討し、地域振興に活かしてほしい。	意見を参考に、今後検討してまいりたい。